第２回　開催報告

これからの奈井江を
ずどーんとたくらむ会

日時：令和８年８月２６日（水）　18：00～19：45
会場：奈井江町公民館大ホール

1.はじめに…

　受付で全員に「たくらみカード」や「いいねシール」を配布。

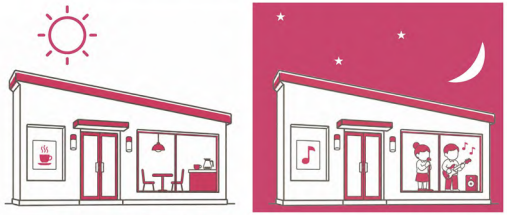
　オリエンテーションでは「生涯活躍のまち」事業取り組み概要や実績、これからのたくらみ、前回（第1回）に出された意見を少し紹介。オリエンテーションが終わった後は、最初だけ指定のテーマに向かって意見交換を開始しました。

※意見交換の様子は前回同様のため割愛します。

これからの奈井江を
ずどーんとたくらむ会（第２回）

①はたらく で出たアイデア

空き店舗を活用してクラフトビールバーを開き、飲食業として働く場所を増やす



空き店舗を音楽ライブ会場やカフェ、物販の場として活用し、小さな仕事に挑戦できるチャレンジショップにする

週替わりでさまざまな音楽体験ができる教室を開く

スタジオまで行かなくても楽器に自由に触れられる場所をつくり、その管理を仕事にする

新しいイベントについての意見を町民から集める

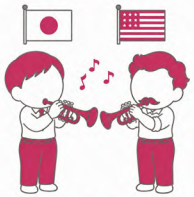
音楽イベントやライブハウスをつくり、働く場所を生み出す

仕事終わりのアフター５に気軽に立ち寄れる、音楽を体験できる施設をつくる

モニタリング番組の企画のようなカラオケ採点イベントを開く

イベントスタッフとして雇用し、運営に参画してもらう

音符の焦げ目がついたせんべいや中が透けて見える五線譜ようかんを、町内で製造・包装して仕事にする



町内で働く海外の方と一緒に音楽を奏で、言葉が通じなくても奈井江で楽しめるようにする

町内の商店や事業所ごとのテーマ曲・ジングルをつくり、有線放送で流す

音符や五線譜など、音楽をモチーフにしたコラボ食品を開発する

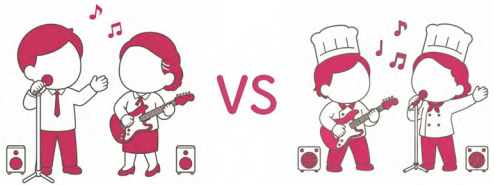
文化ホールやみなクルに来るとポイントが付いて買い物に使える仕組みをつくり、外出を促して閉じこもりを防ぐ

ずどーん体操を使ってインフルエンサーを生み出す

町内で働く人の映像と音楽で動画をつくり、奈井江町で働く魅力を発信する

仕事場や会社の人たちで、奈井江のうたやずどーん体操を取り入れたPR動画を制作する

「楽器はできるけど一緒にやれる人がいない」という人を町内外から集め、奈井江町発のバンドを結成する



職場対抗のバンド・グループコンテストを開く

昼休みにみんなでこつこつ練習してスキルアップし、コミュニケーションの場にもする

住宅地に雑草が多い問題に対し、草刈りをしごとコンビニでワークシェアして進める

これからの奈井江を
ずどーんとたくらむ会（第２回）

②学ぶ で出たアイデア

自然環境を活かした
体験型のサバイバル・
アウトドアイベントを開く

年齢・性別も歌の上手さも問わず
発声を学び、歌で元気に楽しく
長生きを目指す合唱クラブをつくる

修学旅行や見学旅行で、
音響・照明・ステージ設営など
音楽の裏方の仕事を学びに行く

実践的なビジネスや起業・経営に
ついて学べる場をつくる

体験型の学習として
農業教室を開く

豊かな自然の中で音楽を体験し、
豊かな心を育むプログラムを行う

大人が多様なジャンルの
音楽に親しみ、学べる
交流の場をつくる

町民限定・完全匿名で音楽の
情報や意見を交換できる
オンラインサイトをつくる

月１~２回、飲み屋やスナック
などで気軽にいろいろなジャンルの
最新曲を聴く会を開く

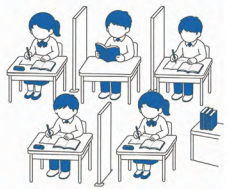
フーリエ変換や平均律
など、音楽と数学を横断
して学び、移調などの技能を
身につけやすくする

地震や豪雨などの災害に備え、
遊びの要素を取り入れた実践的な
防災学習を行う

小中学生の学力を上げるため、
公設塾に勉強特化コースを設ける

定年退職者を対象とした
音楽体験・学びのプログラム
をつくる

自治体・公設で、若者や
学生向けにアルバイト・
就労体験の場を提供する



集中して学習や習い事の復習が
できるスタディーラウンジ
（自習空間）を整備する

体育や特別活動などの学校の
授業に「ずどーん体操」を
取り入れる

小学校の放課後に、
スクールバンドなどで
子どもたちが演奏・練習
できる機会をつくる

音楽の専門的な技能を磨き、
次世代のプレイヤーを育てる
養成クラブをつくる

さまざまな楽器に親しみ、
演奏技術を学べる地域の
器楽クラブをつくる

高齢者向けに、音楽とダンスを通じて
健康増進を図るプログラムを行う

これからの奈井江を
ずどーんとたくらむ会（第２回）

で出たアイデア

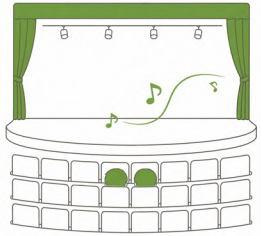
サウナに入りながら音楽を
聴ける体験施設をつくり、
奈井江町の音楽を盛り上げる

BGM や声を１声 100 円、11 曲 1000 円などで
提供する音源プラットフォームをつくり、
いろいろな人の「ずどーん」を集める

文化ホールの利用料を見直して引き上げる
とともに、楽器レンタルやカラオケ機器利用
などの有料オプションを増やす

源泉を活用し、家で沸かして
入浴したり五右衛門風呂を体験
したりするイベントとして稼ぐ

福祉施設などの利用者を
「しごとコンビニ」を通じて
就労につなげる



文化ホールで自分が持ち込んだ CD を
聴ける体験・サービスを提供する

空き家をレンタルスペース
として時間貸しする

町のシンボル・
PR になる、宣伝用の
巨大なオブジェをつくる

町内にサウナをつくって
奈井江町を盛り上げ、
経済を回す

サウナのあとにクラフトビールや
特産品を楽しめる仕組みをつくり、
奈井江の良さを広げる

道の駅に 24 時間営業の
レストランをつくり、
常にずどーん体操を
流してアピールする

ずどーんデザインのトマトビール
自販機を設置し、ボタンを押すと
「ずどーん！」「ありがとう」
「Kiitos!」などの声が鳴るようにする

・道の駅に名物となるご当地
グルメを開発してアピールする

・道の駅に特産品コーナーを
もっと設け、クラフトビール
などの販売を強化して PR する

これからの奈井江を
ずどーんとたくらむ会（第２回）

④つながる で出たアイデア

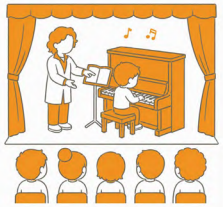
ライブに行くバスツアーを企画してつながる

人通りの少ない道や場所に静かな
音楽を流して、にぎやかにしてみる

LINE を使ってつながる

SNS を使ってつながる

爾波（にわ）山に幸せの
鐘のようなスポットをつくる

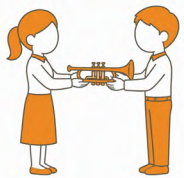


文化ホールに講師を招き、町内に限らず
参加できる楽器の公開レッスンを開催し、
松島屋などの宿泊サービスも用意する

日本一長い流し
ソーメンをやって
つながる

空いている時間
を使ってライブを
してつながる

昔のように、商工・農業・役場の
若手が交流する会を開く



不要になった楽器の贈呈だけでなく、
譲れないが貸すのはよいという楽器の
貸し出しを取り次ぐ仲介サービスを行う

身近に楽器とふれあえる
場所をつくる

奈井江商業高校で
大人の運動会を開く

フォークダンスでつながる

消防団ブラスバンドやバンドをつくり、
音楽好きな人に興味を持ってもらう

音楽に詳しい人をホスト
にした交流会を開く
（EIGHT-JAM のように）

サークルのようなものを
つくってつながる

夜に飲んで交流できる
大人の社交場をつくる

爾波（にわ）山で夏の昆虫
採集イベントを開催する

これからの奈井江を
ずどーんとたくらむ会（第２回）

つくる・使う で出たアイデア

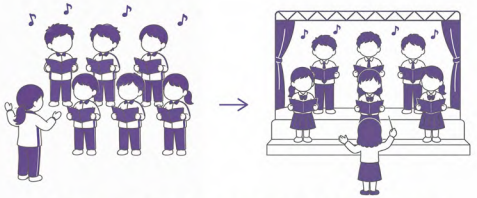
サウナで流す
ためのヒーリング
ミュージックをつくる

町外から家族連れを呼べるキャンプ場や
子ども向けの施設をつくる

サンポパークにインパクトの
ある大きな遊具・道具を置き、
賑わいの拠点にする

町外の人も借りられる
レンタル畑エリアをつくり、
関係人口の創出や交流を図る

アマゾンのような
大型の物流倉庫を
誘致・整備する



公民館などに吹奏楽部や合唱部の音楽合宿を誘致し、
練習の成果をそのままコンサートで披露してもらう

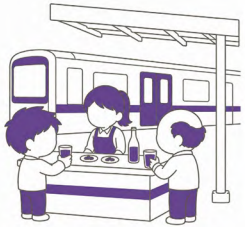
子どもや観光客向けに、
職業体験や音楽関係の
工場見学を行う

月替わりでいろいろな
ジャンルの曲を聴きながら
入れるサウナをつくる

練習場所が少ない地元のダンスチーム
のために、ダンススタジオをつくる

米農家の町・奈井江を
全国に広めて PR する

TikTok などの SNS で
インフルエンサーを呼び、
ずどーん体操など音楽に
のせて奈井江を PR する



奈井江駅に立ち飲み屋をつくり、
ホームからでも利用できるように
して待ち時間を有効活用する

奈井江町内に
コミュニティ
ラジオ局をつくる

日本一の直線道路
「ずどーん」にちなんだ
名物料理をつくってみる

施設や環境をきれいに
使う意識を育てる

にわ山につながる道を
メロディーロード化し、
桜の季節以外も訪れら
れる観光地にする

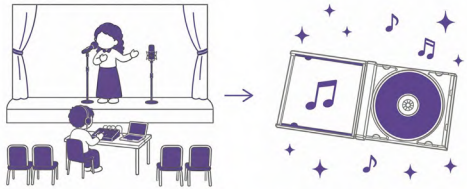
みなクルなど人目につく
場所にストリートピアノを置き、
誰でも自由に弾けるようにする

橋の欄干などを工夫し、
光が当たると影が音符
などの形になるようにする

奈井江オリジナルの
オタマトーンをつくる

メロディーロードで、
奈井江の人が作曲した
曲が流れるようにする

音符型のクッキーやピアノの
ケーキなど、音楽をモチーフ
にしたお菓子をつくる



コンチェルトホールを録音用に貸し出して CD 作成
サービスを提供し、録音・編集機材の教習も有償で行う

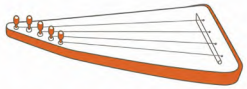
ドライブスルー形式の野菜直売所をつくる

これからの奈井江を
ずどーんとたくらむ会（第２回）

⑥活かす・なおす で出たアイデア

廃棄することになった米粒を並べて、自由にアートをつくれるコーナーを設置する

文化ホールでの楽器の交換事業を、期間限定ではなく年間を通して行う



フィンランドとのつながりを活かし、民族楽器を奈井江で独占的に販売・演奏する

楽器のリペアショップを開き、ギターの生産地などから先生を招いて職人を育成し、産業にする

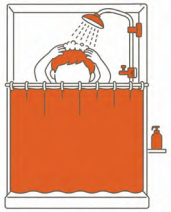
道の駅で音楽イベントを開き、あわせて町のPRも行う

空き家を活用して、町外の人向けのおためし移住ができるようにする

道の駅の付近に温泉宿をつくる

スポーツ観戦などができるように体育館の設備を見直す

駅前広場のピアノを活かし、28℃以上の日のビアガーデンなど単発のイベントを開催する



体育館や寿運動公園と、再開した松の湯の入浴券付きでサッカー場を貸し出すなど、オプション付きの高付加価値サービスを開発・販売する

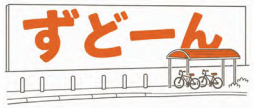
道の駅にシャワールームを設置し、ドライバーの利便性と防災拠点としての機能を高める

温泉をなおし、音楽を流して聴ける場にする

松の湯をなおして活かす

奈井江駅にピアノを置き、誰でも自由に弾けるようにする

ふるさと納税のピアノ独奏プランに、撮影・照明スタッフを用意したメモリアルプランを追加する



奈井江駅の東側に立っている壁に、大きな「ずどーん」の看板を設置する

唯一残った１号の歩道橋を、もっと「ずどーん」感のあるデザインに塗り直す

田んぼでミュージックビデオを撮影できる、専用のセットをつくる

国道に面したシャッターに飲食店の地図などを描いてPRする

高校の施設をイベント会場、または老人ホームとして活用する

閉店した店舗から資材を集め、空き店舗をチャレンジショップとして使えるようにする

これからの奈井江を
ずどーんとたくらむ会（第２回）

⑦伝える・ひろげる で出たアイデア

毎日インパクトのある
ショート動画を発信する

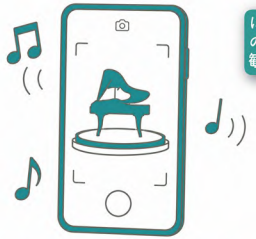
インフルエンサーを
奈井江町に呼び込む

・ご当地アーティストを育ててファンをつくり、
奈井江のファン獲得と収入につなげる

・ご当地アイドルをつくり、デビューまでの
ドキュメンタリーを作成して奈井江町をアピールする

となりの町や市と
コラボレーションする

文化ホールの催事のピラ架を
整備し、催事や入場券の情報を
わかりやすく伝える



SNS での発信を促し、AR でかざすと
音楽が流れる仕掛けをつくる

にわ山展望台に「ずどーん」
の文字モニュメントを設置して、
観光名所にする

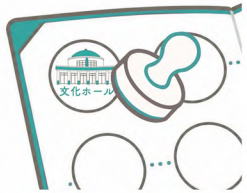
町中にある音楽を
モチーフにした
オブジェを活用する

文化ホールができた理由や、これまで
どんなアーティストが来たのかをみんなに
伝える漫画をつくる

ポケモンのマンホール
（ポケふた）を奈井江にも設置する

町民が演奏した曲を集めた
YouTube チャンネルを開設する

自称音痴の人たちで奈井江町の歌を
うたって、YouTube にあげる



町内各施設のオリジナルロゴをつくり、
ずどーんグッズなどを景品にした
スタンプラリーで町内を回ってもらう

7月18日の「ないえの日」を
もっと広めるため、祝日にして
みんなで休む

道の駅にドッグランの
ような「モンスターウルフ
ラン」をつくり、インパクト
で奈井江町を覚えてもらう

美唄空港からのスカイダイビングや
里山からのパラグライダーなど、
空から奈井江を伝える

公用車に音楽の町が伝わるような派手な
ペイントを施し、出張に行くたびに宣伝する

奈井江町内の
道路をすべて音のなる道路にする

マクドナルドの「タラッタッタッラー」
のような、奈井江町のサウンドロゴをつくる

2.参加者の状況

高齢者から20歳代の若人、経営者や起業をたくらむ人、各団体に所属する人など、色々な状況の方が参加してくれました。

少し意見の傾向が見えてきました。次回も雰囲気は同様ですが、少しワークショップの開催内容をブラッシュアップしたいと考えています。皆さんのご参加をお待ちしています。

年代	参加者数	構成率
80歳代	2	4.3%
70歳代	0	0.0%
60歳代	3	6.4%
50歳代	10	21.3%
40歳代	6	12.7%
30歳代	12	25.5%
20歳代	14	29.8%
10歳代	0	0.0%
合計	47	100.0%